

北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所
記者発表資料

配布日時
令和6年7月19日

令和5年度完成 優良工事等の事務所長表彰について

北陸地方整備局では、良質な社会資本整備、建設技術の向上および円滑な事業推進のため、工事、委託業務の中から、施工及び成果が優秀で他の模範となるものを優良工事等として表彰しています。

このたび金沢港湾・空港整備事務所では、令和5年度完成の優良工事等の事務所長表彰式を下記により執り行いますので、お知らせします。

記

1. 日 時 令和6年7月25日（木） 15：30～
2. 場 所 金沢市大野町4丁目2-1
北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所 会議室
3. 表彰内容 優良工事 事務所長表彰
優良建設技術者（委託業務）事務所長表彰
優良工事（下請負者）事務所長表彰

発表記者クラブ
石川県政記者クラブ 専門紙

問い合わせ先
北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所 副所長 辻 浩幸 （TEL 076-267-2241）

令和5年度完成 優良工事等の事務所長表彰について

令和6年7月19日
金沢港湾・空港整備事務所

1. 目的

優良工事等の事務所長表彰は、事務所所管の工事等に関し、その施工及び成果が優秀であって、他の模範となるものを選定し表彰することにより、良質な社会資本整備を目指すとともに、建設技術の向上と事業の推進に資することを目的としています。

また、優良工事を選定された工事の下請負者については、工事の品質確保や向上に貢献したとして元請負者から推薦された企業を表彰します。

2. 選定要件

- ・工事：安全管理、工程管理、出来形、品質及び出来ばえ等の施工管理が優秀であり、さらに、創意工夫、コスト縮減、リサイクル等に積極的に取り組むなど、他の模範となる企業および技術者。
- ・委託業務：業務目的を十分理解のうえ、調査・解析等の専門技術力、工程・品質等の管理技術力に優れ、的確な成果の取りまとめを行うとともに、課題解決に向けた積極的な取り組みがみられるなど、他の模範となる企業および技術者。
- ・下請負者：専門的な技術を取得した技能労働者を抱えた下請負者であり、専門技術の維持、向上に貢献した企業、主任技術者および有能技術者。

3. 選定結果

①優良工事

受注者名	工事名
日本道路株式会社北信越支店	小松空港エプロン新設工事

②優良建設技術者（委託業務）

技術者名	受注者名	業務名
原田 秀敏	株式会社ニュージェック	小松空港エプロン改良調査設計

③優良工事（下請負者）

下請負者名	元請負者名	優良工事名
有限会社こやな川	日本道路株式会社北信越支店	小松空港エプロン新設工事

令和5年度完成 優良工事[事務所長表彰]

受注者	日本道路株式会社北信越支店	事務所名	金沢港湾・空港整備事務所
	執行役員支店長 堀 吉伸	工期	(自) 令和4年3月11日 (至) 令和5年12月22日
	新潟県新潟市中央区笹口2丁目12番7	請負金額	514,382,071 円
工事名	小松空港エプロン新設工事	工事場所	石川県小松市浮柳町 小松空港内
工事概要	<p>本工事は、小松空港における航空機の受入体制強化のため、供用中の民航側制限区域内に、大型機対応のエプロン(駐機場)及びGSE(地上支援車両)置場・通行帯を新設するとともに、構内道路駐車場の改良を実施するものである。</p> <p>主な工種は、土工、構造物撤去工、舗装工、標識工、排水工、付帯施設工、仮設工、灯火施設工等である。</p>		
選定理由	<p>本工事は、空港運用時間中に制限区域内の既設エプロン・車両通行帯近隣にて施工するため、航空機や支援車両等の運行に支障を及ぼさぬよう、施工管理をする必要があった。</p> <p>受注者は、施設利用者や管理者、関連工事等、多くの関係者に対して、空港運用に配慮した施工順序や施工方法を提示し、合意形成を図りながら空港機能維持と工事進捗を両立させた。</p> <p>また、重機の改良により現地条件に対応して機械化を図ることや、自動制御可能な重機と、自動で施工管理が可能なトータルステーションを用いて、空港制限区域内における安全性向上、作業省力化、時間短縮を図る一方、あえて一部では人力施工を採用することで、航空機等と工事区域の離隔を確保するなど、各地点に適した施工方法で、効率的かつ安全に施工を進め、竣工させた。</p>		

令和5年度完成 優良建設技術者(委託業務)[事務所長表彰]

技術者	原田 秀敏 (管理技術者)	事務所名	金沢港湾・空港整備事務所
	株式会社ニュージェック 富山事務所	工期	(自) 令和5年7月4日 (至) 令和6年2月29日
	富山県富山市本町3番25号	請負金額	6,072,000 円
業務名	小松空港エプロン改良調査設計		
選定理由	<p>本業務は、小松空港民港側の制限区域内に位置する、供用中のエプロンにおいて、コンクリート舗装目地部に段差が生じて走行性が損なわれている問題を解消するため、舗装改良を検討するものである。</p> <p>本設計区域は、特に劣化が進行している範囲を対象としていたが、受注者は、周辺設備や舗装全体を踏まえて検討することを提案し、周辺舗装との接合、舗装の効率的な打設方向、排水等を考慮して目地割りや舗装勾配等を適切に設定した。</p> <p>また、設計区域周辺は、舗装の構成や施工時期が複数種存在する中、劣化状況の差にも対応し、さらに、目視を含む複数の調査結果や、目地部に段差が生じた原因を踏まえ、改良範囲の検討を進めるなど、施工性・経済性に配慮した良好な成果をまとめた。</p>		

令和5年度完成 優良工事における下請負者等表彰[事務所長表彰]

事務所名	金沢港湾・空港整備事務所
優良工事名	小松空港エプロン新設工事
元請負者名	日本道路株式会社 北信越支店
下請負者名	有限会社こやな川
技術者名	—
技能者名	—
専門工事業	舗装工事業
選定理由	<p>本工事は小松空港の制限区域内での工事であり、作業ヤードが限定され、制限区域内での規定に基づく施工が必要な、極めて難易度の高い工事であった。</p> <p>このような状況下で、当該下請業者は工事目的を深く理解し、他空港等での施工実績を活かした独自の施工技術、施工器具を用い、工事目的物であるコンクリート舗装の品質・出来栄に配慮した施工を行い、良好な結果に大きく貢献したため。</p>